

一九八二年を考える

この年頭にあたり、東京新聞社説は「あわや日本、本物かという懸念で、いまの日本は自由と繁栄に恵まれたあわや国ではない」と評判が、ウツカホントと問いかけた。

GNP、経済成長率、失業率、物価指数などなる数字がことごとく優秀であり、その上平均寿命も世界の1、2位の長生きを誇る以上、当然だろうという見方もある。

ホントかウツカホントか、人それぞれの考え方があるのは当然であらうが、今年を送るにあたり「あわや」という懸念について考えてみたい。

鈴木首相は、年頭の閣議記者会見で、努力すれば景気は回復し、経済成長目標五・二%達成も可能と、国民に「あわや」の夢を持たせた。

その人が、十月十三日に公約破たんが重なり、内外の政

局の途を歩んだと速断はつむべきだが、どうもホントの「あわや」の年ではなかったように思われる。

「あわや」の年ではなかったように思われる。国会人のしあわせを憂えながら、風前の灯のようなゆえ知らぬ不安を抱きつづけた年と総括しておこう。

ひるがえって教育界のことを考えてみよう。約一七八万名の小学校児童、五〇五万名の中学校生徒、四六〇万名の高等学校、また国立私立の大学など高等教育の教育現場では、どのような教育が行われたのであろうか。

これからの修学旅行 ①

文部省初等中等教育局
前 教科調査官

堀久

1 修学旅行の教育的意義

修学旅行は、現在教育課程上、学校行事の一種として、修学旅行の行事(遠足、修学旅行、集団宿泊指導などを含む)の中に位置づけられている。この修学旅行の観念については、現行の中学校学習指導要領(注)に次のように示されている。

平素と異なる生活環境の中にあって、見聞を広めるとともに、楽しく豊かな集団行動を行なうことにより、集団生活のきままり、公衆道徳(マナー)の望ましい体験を身につけ

る。この年頭にあたり、東京新聞社説は「あわや日本、本物かという懸念で、いまの日本は自由と繁栄に恵まれたあわや国ではない」と評判が、ウツカホントと問いかけた。

GNP、経済成長率、失業率、物価指数などなる数字がことごとく優秀であり、その上平均寿命も世界の1、2位の長生きを誇る以上、当然だろうという見方もある。

ホントかウツカホントか、人それぞれの考え方があるのは当然であらうが、今年を送るにあたり「あわや」という懸念について考えてみたい。

鈴木首相は、年頭の閣議記者会見で、努力すれば景気は回復し、経済成長目標五・二%達成も可能と、国民に「あわや」の夢を持たせた。

その人が、十月十三日に公約破たんが重なり、内外の政

治問題へ発展したことは、重大なことである。外交的には一収拾されたが、そのよってきたることは根深く、今後多くの問題を残した。

教科書の辞句もさることながら、海外研修の旅をする教職員が肌で得たものを、生徒に正しく伝える「生きた教科書」こそが重要であることを大いに考えさせられた。

次に、少年の非行暴力の拡がりである。連日マスコミは大きく報道したので、日本の少年全体が汚染されているかの錯覚を起すが、それは少数のことである。現行六三制の長所欠陥は、国会でも政府も国民も総掛りでメスを入れるべき時であると考えられる。然る論議の起ることをねがうものであるが、それへの取り組みが始まった年として、「あわや」の方へ位置づけておきたい。

さて、文部省検定の歴史教科書の内容に対する中国、韓国政府の抗議は、それがまひなく東南アジア地域へ拡がりを見せ、大きく揺れ、揺れ、外交政

いっしょに、

2 「旅行の行事」

平素と異なる生活環境の中にあって見聞を広め、集団生活のきままり、公衆道徳などについて望ましい体験を積むような活動を行おう。

3 旅行の行事のねらい

平素と異なる生活環境における集団行動の中にあつて、教師と生徒が互に人間の間の触れ合いを経験するとともに、生徒の生涯にわたる楽しい思い出を作らう。

いっしょに、

1 わが国の文化、経済、産業、政治などの重要な地域を直接見聞したり、大自然の美しさに接したりすることによって、各教科等における学習を拡充し、広い知見と豊かな情懷を育成する。

2 多彩な集団活動を通して、自律心を育て、集団のきまりを守ることも、健康や安全、集団生活のきままり、公徳心、公衆道徳などについての望ましい体験を得させよう。

(文部省発行、五・六、主査、教科調査官堀久・中学校特別活動指導資料第3集・学校行事をめぐる諸問題)

この趣旨は、単なる修学旅行に限定せず、今後は幅広い内容を取り上げられることを想定してのことである。

なお、この趣旨は、中学校のものをもつて代表させている。小学校の場合は、生徒を見守り、高等学校の場合は、既に「旅行の行事」を用いているので、それぞれ読ま替えていただきたい。

追記(編集部)

1 新学習指導要領(中学校)

「修学旅行の行事」の名称を「旅行の行事」に改め、高等学校との一貫性を図るとともに、時代の進展に伴う各種の集団宿泊指導などの実施に対応できるように

この趣旨は、単なる修学旅行に限定せず、今後は幅広い内容を取り上げられることを想定してのことである。

なお、この趣旨は、中学校のものをもつて代表させている。小学校の場合は、生徒を見守り、高等学校の場合は、既に「旅行の行事」を用いているので、それぞれ読ま替えていただきたい。

追記(編集部)

1 新学習指導要領(中学校)

「修学旅行の行事」の名称を「旅行の行事」に改め、高等学校との一貫性を図るとともに、時代の進展に伴う各種の集団宿泊指導などの実施に対応できるように

ことしの出来事から

- 1 鈴木首相景気回復努力を強調、新年の記者会見で「57年度の経済成長目標五・二%の達成は可能」と語った
- 2 12月17日、八七人が反核デモ、地球が核戦争の戦場化を防ぐために、直ち行動、井伏鱒二、井上靖氏ら
- 2 8ホテルニュージャパン火事、9 10階約四三〇〇平方メートル、宿泊客三十一人が死亡、二十八人が重傷
- 2 9日航空機羽田に墜落、福岡羽田行き日本航空DC8型機(片桐清一機長、二十四人が死亡、百五十人が重傷)
- 2 19臨時第2次答申尊重を閣議決定、政府は十九日の閣議で2次臨時行政調査会の中間答申で所要の施策実施を決めた
- 3 9予算案、衆院を通過、57年度予算案は、一般会計四九兆六八〇八億円、財政投融資計画(一〇兆二八八八億円)
- 4 7国鉄、20日から六・一%値上げ、連綿審議会は国鉄の申請通り認めた各甲、普通旅客六・七%、総平均六・一%
- 4 9「家永教科書」差し戻し、家永三郎氏の文部大臣相手の第二次家永訴訟上告審で最高裁は二審判決を破棄した
- 5 3人口増加率、戦後最低の〇・七%、総理府統計局の調査では、わが国の人口は一億一七八八万人、伸び八八万人
- 6 11元岩手県知事長官に無罪、49年の春闘で日組が行った「4・11統一スト」をめぐる裁判で、佐藤啓三氏は無罪
- 6 23東北新幹線が開業、大宮―盛岡間四六五・六キロを二時間十七分で結ぶ、11年の工期、二兆八千億
- 6 28日教組異例の分散大会、一島原大会一の会場が右翼団体の攻撃を受け、市内五カ所のホテルで分散大会となった
- 7 10参院全国制改革を強硬採決、自民党は9日の参院の公職選挙法改正案を可決、参院全国区制改革、比例代表制
- 7 27教科書検定問題で中国が抗議、文部省が中国大陸への「侵略」を一進出と歴史を改ざんしたと正式抗議、韓国も非難
- 8 1中国が小川文相の招待を取り消す、教科書検定問題で日本批判を強めた中国は、決定済みの文相訪中受入れを取消し
- 8 2台風10号、日本列島を横断、2日未明、大型台風10号が渥美半島に上陸、四国、近畿、東海、関東を暴風雨に
- 8 3教科書検定問題で韓国政府も正式抗議、韓国の李錫範外相は日本政府が表現は正しにしていると言明、韓国も非難
- 8 26政府責任で教科書は正、宮内省長官談話を発表、中国韓国が強く求める歴史記述の修正について約束した
- 9 10教科書外交は決着、中韓とも評価を伝達、中国呉次官は正措置見守る、アジアに傷跡国内に難題残す
- 10 7大學生が五人刺殺、「V、子供うるさい」と東京・中野で日大生が家主、隣人をつきつきに襲う
- 10 13鈴木首相退陣を正式表明、公約破たんが重なり、内外政策行き詰まる、主流派中曾根根拠派支持の動き
- 10 23自民予備選に突入、徹夜の「三人委調整決裂」中曾根総理福田総裁一案を中曾根根拠派が拒否
- 10 25高校生就職一〇年ぶり最悪、内定率50%以下、「自動化」「不況」響く、労働省が一日に対策緊急会議
- 11 25中曾根根拠派第十代自民党総裁に予備選で田中、鈴木両派に支持された中曾根根拠派を上回る第一位
- 11 26新文相に瀬戸山三男氏、中曾根新内閣の文部大臣に就任
- 11 30奈良、山田寺で最古の遺構発掘、奈良県桜井市の特別史跡山田寺跡から、東面回廊の一回が横倒しになったまます

堀久氏と「心」のこる「修学旅行」

たまたま、昭和五十二年七月二十三日、小学校、中学校の改訂学習指導要領が告示された。同氏の「これからの修学旅行」という所論は、現在の修学旅行の在り方を研究する上、貴重な文献であると考えられる。

昭和五十七年を送るにあたり、当協会発行の「心」のこる「修学旅行」紹介、同先生の研究を、再録で紹介し、謹んでご賞賛をお祈りいたす次第であります。

(専務理事 白滝未紀)

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。静寂のなかに憩いのひととき。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460-4-8595(代表)

関東原野を一望しながら
大いなる旅立ち

○収容： 800名
○浴場： 200名
○防災： 適マーク適用

那須ロイヤルセンター
那須ロイヤルホテル
東京営業所 ☎03(268)6180 大阪案内所 ☎06(231)9731